

平成27年7月30日

原子力損害賠償・廃炉等支援機構

1. 廃炉研究開発連携会議(第1回)の概要

- 1) 日 時: 平成27年7月6日(月)16:00~18:45
- 2) 場 所: 原子力損害賠償・廃炉等支援機構(NDF)会議室
- 3) 出席者: 関係機関の代表者及び有識者から構成される16名の委員、オブザーバー
- 4) 概 要:
 - ・ 運営要領の決定後、互選により山名委員(NDF 副理事長)が議長に選出されるとともに、オブザーバーとして原子力規制庁(技術基盤グループ)から参加を得ることとされた。
 - ・ 経済産業省、文部科学省、東京電力、国際廃炉研究開発機構、日本原子力研究開発機構、東京工業大学、東北大学、東京大学、日本原子力学会から研究開発に関する取組の概要について報告・共有した。
 - ・ 「廃炉・汚染水対策に係る研究開発の連携強化に関する基本的方針」、及び、「今後の取組の方向性」について討議を行い、委員から更なる意見の提出を受けた上で、とりまとめることとされた。

2. 研究開発の連携強化に関する基本的方針と取組の方向性

本会議での討議及び各委員からの意見を踏まえ、「廃炉・汚染水対策に係る研究開発の連携強化に関する基本的方針」、及び、「廃炉・汚染水対策に係る研究開発の連携強化に向けた取組の方向性」について合意した。「取組の方向性」については、今後、関係機関において具体的なアクションを次回会議(今秋を予定)までに検討・共有するとともに、可能なものから直ちに具体的なアクションを開始していく。

<基本的方針>

- ① 関係機関における研究開発の取組内容に関する理解と共有
- ② 廃炉現場と研究現場との協力及び連携の確保。このための一元的なコーディネーション機能、開かれたプラットフォーム機能の構築
- ③ 研究者・エンジニア等人材に関する取組の推進

<今後の取組の方向性>

- ① 研究開発ニーズ・シーズに関する双方向の情報発信・共有と基盤構築
- ② 双方向連携の場の強化と研究者の参加拡大
- ③ 研究施設及び研究現場で協働する連携の強化
- ④ 人材の育成・確保・流動化に関する取組の強化

【添付資料1】 廃炉・汚染水対策に係る研究開発の連携強化に向けた取組の方向性(概要)

【添付資料2】 廃炉研究開発連携会議(第1回)資料(一部は委員意見を反映したもの)

【添付資料3】 廃炉研究開発連携会議(第1回)議事要旨

(以上)